

技能実習生と地域との つながりづくりに関する取り組み



公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)

大泉 貴広

年度	事業名	特徴	内 容
H 28	「技能実習生と地域をつなぐプログラム」	塩釜市に地域を限定してパイロット的に実施	・技能実習生をサポートする人材の育成 ・日本語交流教室(全7回) ・スタディツアー ・市民との交流イベント ・街あるき
H 29	「技能実習生との共生の地域づくり推進事業」	H28年度成果を踏まえて地域を拡大して実施	・市町村職員を対象とした研修会 ・一般市民向けのセミナー(仙台) ・技能実習生をサポートする人材の育成(仙台、石巻) ・技能実習生と地域住民との交流会・懇談会(石巻、仙台、気仙沼、塩釜)
H 30	「技能実習生地域共生推進事業」等	他団体の取り組みに協力する形で実施	・市町村職員を対象とした研修会 ・技能実習生と地域住民との交流会・懇談会(塩釜、気仙沼) ・防災研修(気仙沼)
R 元	「技能実習生地域共生推進事業」等	他団体の取り組みに協力する形で実施	・技能実習生と地域住民との交流会(塩釜) ・防災研修(気仙沼) ・一般市民向けのセミナー(多賀城)
R 2	「技能実習生等との共生の地域づくり推進事業」	県からの委託事業として実施	・技能実習生をサポートする人材の育成(多賀城) ・技能実習生と地域住民との交流会(多賀城) ・防災研修(気仙沼、多賀城)
R 3	「多文化共生のためのコミュニケーション支援業務」	県からの委託事業として実施	・技能実習生をサポートする人材の育成(多賀城) ・技能実習生と地域住民との交流会(多賀城) ・技能実習生と大学生とのオンライン交流(石巻)



日本語交流教室(H28年度・塩釜市)



小学生との交流(H29年度・仙台市)



市民向けのセミナー(H29年度・仙台市)



市民との交流(H29年度・石巻市)



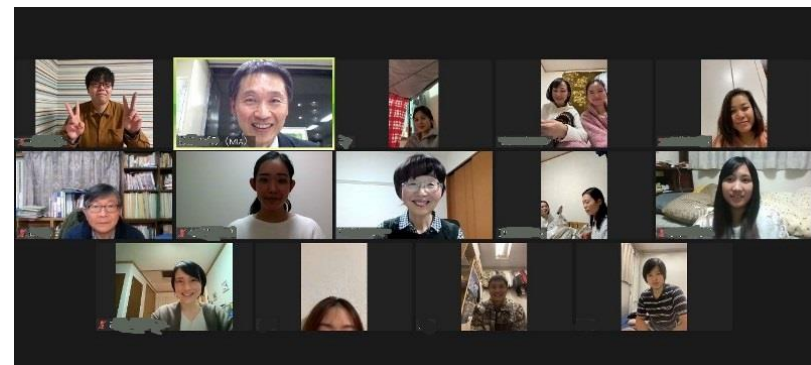
防災研修(R元年度・気仙沼市)



防災研修(R2年度・多賀城市)



市民との交流(R3年度・多賀城市)



大学生とのオンライン交流(R3年度・石巻市)

参加した技能実習生の声

- ・もっと多くの日本人と友達になりたい。
- ・この交流会を通じて、日本の文化、生活などを理解できました。
- ・会社以外の日本人と交流できて、日本語を学ぶいい機会でした。
- ・子供たちがベトナムを理解してくれて嬉しかったです。
- ・ベトナムの文化、歴史を紹介できて、ベトナム人として、幸せと誇りを感じました。
- ・日本の方たちにミャンマーのことに興味を持ってもらっていると感じました。

参加した日本人の声

- ・技能実習生の皆さんの一生懸命さ、そしてパワーを感じました。
- ・とても明るくて活気のある技能実習生で、技能実習制度についての印象が変わりました。
- ・初めて技能実習生の人と話しました。やはり、直接話して交流することは大切だと感じました。
- ・実際に会わないと地域に暮らしていることがわからないことを実感した。
- ・これまで労働者としてしか技能実習生のことを見ていなかった。機会があれば、同じ地域住民として交流したい。
- ・技能実習生を見かけたら、思いきって勇気を出して声をかけてみたいと思いました。

受入企業の声

- ・（交流相手だった）小学生のリアクションが良く、非常に関心を持っていただけたようで、とても良かったと思っている。実習生たちも、これまで積み重ねてきた準備・練習の成果を発揮できたようで、満足しているようです。
- ・技能実習生に対する偏見をなくすため、技能実習生に対する認知度を上げるためにも、交流の場を設けることは非常に重要なこと。
- ・市内には多くの外国人が住んでおり、地域住民との共生が必須となってきた。多くの技能実習生を受け入れる企業として、こういう触れ合いの場には引き続き積極的に参加していきたい。

前述の事業枠外の実組



「仙台防災未来フォーラム2019」でベトナム人技能実習生が防災研修での体験談等を発表。



大学の講義のなかで技能実習生、受入企業、監理団体職員がゲストスピーカーとして登壇。



「多文化共生対談inいしのまき」(R2年度)にベトナム人技能実習生が登壇。



「多文化共生シンポジウムin加美」(R3年度)にベトナム人技能実習生が登壇。